

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(長野観光自動車株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			社会保険労務士による研修、並びに相談窓口の設置。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			「セクシャルハラスメント防止にに関する規定」 平成25年6月10日施行					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			運転職員はフレックス制勤務を導入することにより閑散日は短縮勤務を可能にする。また、勤務ごとに職員と管理者相互による勤務時間の管理を行っている。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本		【予定】	現状いないが、外国人労働者への適切な処遇や労働環境の整備を行う。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			アクセル・ブレーキ踏み間違い防止装置、または自動ブレーキ搭載車両の積極的な入れ替え。			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			年に一度、外部機関によるストレスチェックを実施。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			定年退職後の延長後雇用を可能にする就業規則の整備					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			介護サービス提供職員の資格取得のための補助のほか、担当業務に必要な資格もしくはスキルアップのための補助制度の制定。				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			雇用形態に関わらず、同一の賃金規定により支給している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	【予定】健康経営優良法人認定制度2023の認定取得			3					8									
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			廃棄物処理認可業者による、資源ごみや廃棄物の適切な処理を行っている。											11.6	12		14.1			
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本		【予定】	営業車の日々の運行データよりエネルギーの使用料と温室区化ガス排出量を把握する。							7.3					13					
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本		【予定】	営業車の日々の運行データより温室排出量を把握し、アイドリングストップや適正な稼働車両計画を立てる。							7.2 7.3				12.4	13.3					
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			法令で規制されている有害化学物質を把握し、削減のための計画を策定する			3.9			6.3					11.6	12.4					

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本		【予定】	事業全体における生物多様性への依存と影響を把握し、負の影響を削減するための計画を策定						6.6									15			
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			紙資源利用の削減、廃タイヤや廃油等のリサイクル活用												13		14.1				
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	水利用状況を把握、使用量削減等の計画を策定する。						6.4 6.6												
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ		【予定】	ISO14001もしくはエコアクション21の認定取得。			3.9			6	7					12	13.3	14	15			
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ		【予定】	HPで環境情報を公開している												12.6						
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			太陽光発電装置の設置							7.2						13					
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			ペーパーレス化を進めるとともに、コピー用紙、封筒などの事務用品をできる限り再生用紙に変更するなど環境に配慮した商品購入を推進している。												12.2	13	14	15			
公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、就業規則に盛り込んでいる。また、社内研修等を通じて従業員に浸透している																16 16.5		
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			不正競争行為を含む行動規範を整備し、社内研修等を通じて従業員に周知している																16		
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本		【予定】	特許、商標権等知的財産権の取得、管理をしている								8.2 8.3	9									
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			社内LANネットワークに情報漏洩監視機器を接続し、USB等による情報の持ち出しの監視を行っている。 【予定】個人情報保護規定の整備を実施する																16		
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																				16	
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	取引先との対話を通じ、人権侵害防止等の取り組み状況の確認を行っている					5		8		10			12	13	14	15	16	17	
	【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している。			3				8	9	10									17

		チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （※などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																								
9	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			安全教育計画に基づき、研修・指導、運転適性検査を行い、サービス面については、車いすで乗車できるタクシーを積極的に入れ替え、乗降の際の安全性を確保している。			3.9										12.4					
10		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			訪問介護事業所の指定を受け、介護資格職員による安心・安全な外出を支援。 配車アプリ、キャッシュレス決済機を導入。									9									
11		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			環境影響の把握を行い、環境に配慮した車を活用						6							12	13	14	15		
12		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			妊婦の方の急な通院にも速やかに対応できるよう、事前登録制の「命の絆タクシー」を提供。また、高齢者や外出困難者に対し、買い物代行などの生活応援サービスも行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
13	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			地域との情報共有のために地域商工振興会、人権教育推進協議会などの団体へ加入し、自社事業の地域への影響を把握して改善に努めている。				4					9		11	12		14	15		17	
14		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			冬季における通学路の除雪作業など、地域住民が利用する生活道路の保全のほか、営業車の一部をV2H車両に入れ替え、災害時などに、電力供給ができる体制を整える。				4							11			14	15		17	
15		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ		【予定】	地域の原材料、製品を優先的に利用している パートナー企業として多くの県内企業と取引している。									8	9		11	12	13				
16	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			経営理念、基本方針を制定し社内に掲げ、朝礼・始業点呼等で理念の共有を行っている。									8	9							17	
17		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本		【予定】	コンプライアンス研修を全従業員向けに実施している																16		
18		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			責任者（担当役員）、CSR責任者を任命している																	16	
19		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			自社活動のステークホルダーとの対話を通じ、影響を把握し、改善に努めている。																16	17	
20		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ		【予定】	リスクの洗い出しを行い、適切な対策を講じている																	16	
21		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	CSR方針を策定している																	16	
22		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ		【予定】	事業継続力強化計画(BCP)を策定し、BCM(事業継続マネジメント)を実践する									9		11		13 13.1			16		
23		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			後継者候補がいる。サクセッションプランを作成している								8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定